

# 伊丹市昆虫館

## プレスリリース

令和4年6月1日

### 絶滅危惧種「フサヒゲルリカミキリ」の飼育下繁殖に国内施設初成功

フサヒゲルリカミキリは体長15～18mmのカミキリムシ科の昆虫で、人によって適度に管理された草原に生息します。しかし、そのような草原はほぼなくなり、現在本種が確実に生息しているのは岡山県内の一部地域のみになっています。近年の調査ではその個体数は100頭前後とされ、絶滅が非常に危惧される状態です。このため本種は、環境省レッドリストでは絶滅危惧IA類、種の保存法による国内希少野生動物種に指定されています。

伊丹市昆虫館では環境省と連携し、平成30(2018)年より本種の飼育(生息域外保全)を開始し、今年、国内の施設では初となる飼育下繁殖に成功しました。

令和4年6月4日(土)より6月20日(月)まで、当館にて本種の生体展示をおこないます。



フサヒゲルリカミキリ

触角に毛束(ふさ)があり、体色が深い瑠璃色であることからこの和名がつけました